知　事　等　巡　視　要　領

１　巡視内容

市民ふれあいセンター会場で行う「防災フェア」「ボランティアセンター運営訓練」「避難所運営訓練」「多数遺体取扱訓練」の巡視

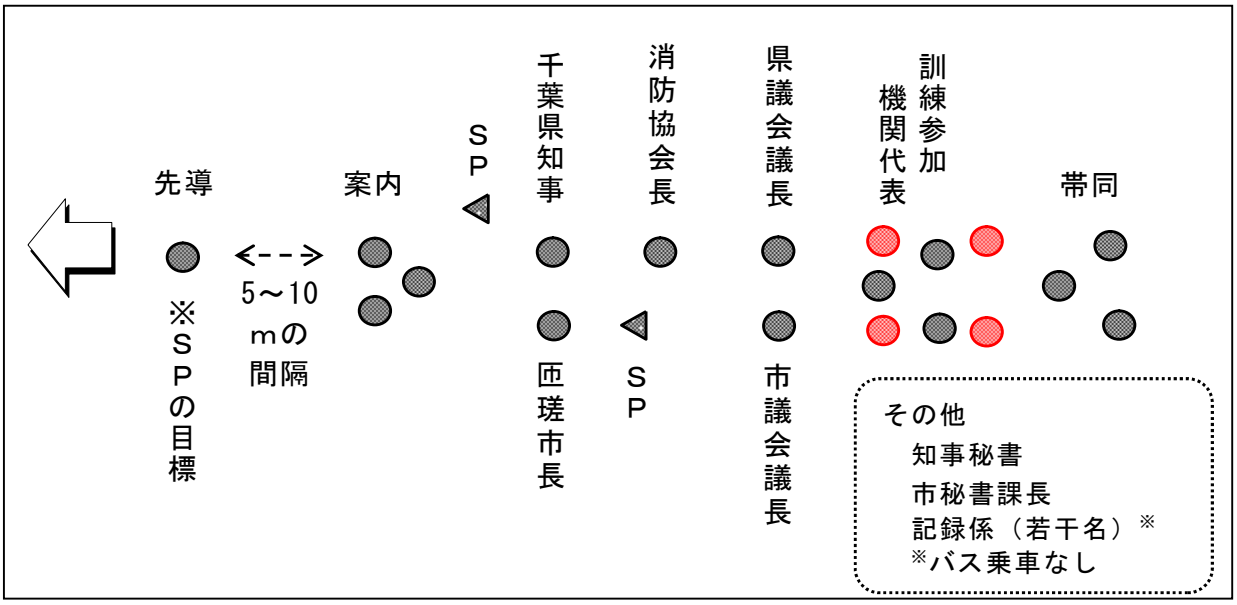
２　予定時刻

① 移動等　１０時１５分～１０時３０分（１５分間）※トイレタイム含む
② 巡視　　１０時３０分～１１時３０分（６０分間）

３　巡視構成

	巡　　視　　者	備　　考
主催者	千葉県知事	知事秘書、ＳＰ（２名）
	匝瑳市長、公益財団法人千葉県消防協会長	市秘書課長
来賓	県議会議長、市議会議長	県議会議長は代理者
訓練参加機関代表	県警本部長、陸上自衛隊第１空挺団長、千葉県消防長会長、県公安委員会（４名）	
案内	県：防災危機管理部長、危機管理課長 市：総務課長	先導：危機管理課副課長
帯同	訓練参加主要３機関の副官まで（※巡視統制管理上）	その他は要望あれば、次班とする

４－１　巡視体制



合計23名

4－2　移動バス内座席図

運転手	知事	知事秘書	市長	市議会議長	県警本部長	公安委員会委員長	公安委員会委員
	県防災危機管理部長	県危機管理課長	市総務課長	市秘書課長	県警副官	公安委員会委員	公安委員会委員
							陸自副官
県危機管理課副課長　※兼バス誘導	↑出入口↓	ＳＰ	（公社）消防協会長	県議会議長（代理）	消防長会長	消防副官	陸自第１空挺団長

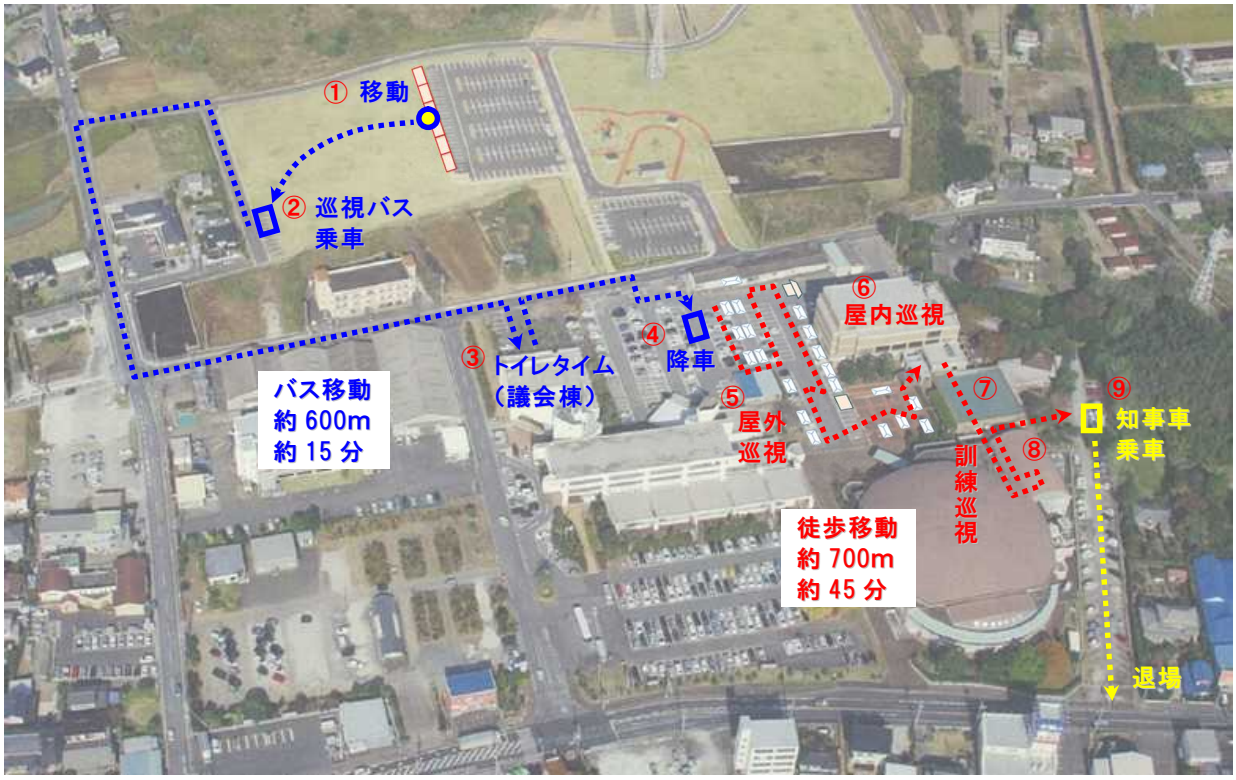
合計22名（※SPのうち1名はバス降車時から帯同する）

5　他の巡視者

副知事や副市長、議員等などの来賓のために、次班を編制（※バスが戻り次第出発）

【案内】：（県）危機管理課災害対策室長、（市）総務課消防防災班副主幹

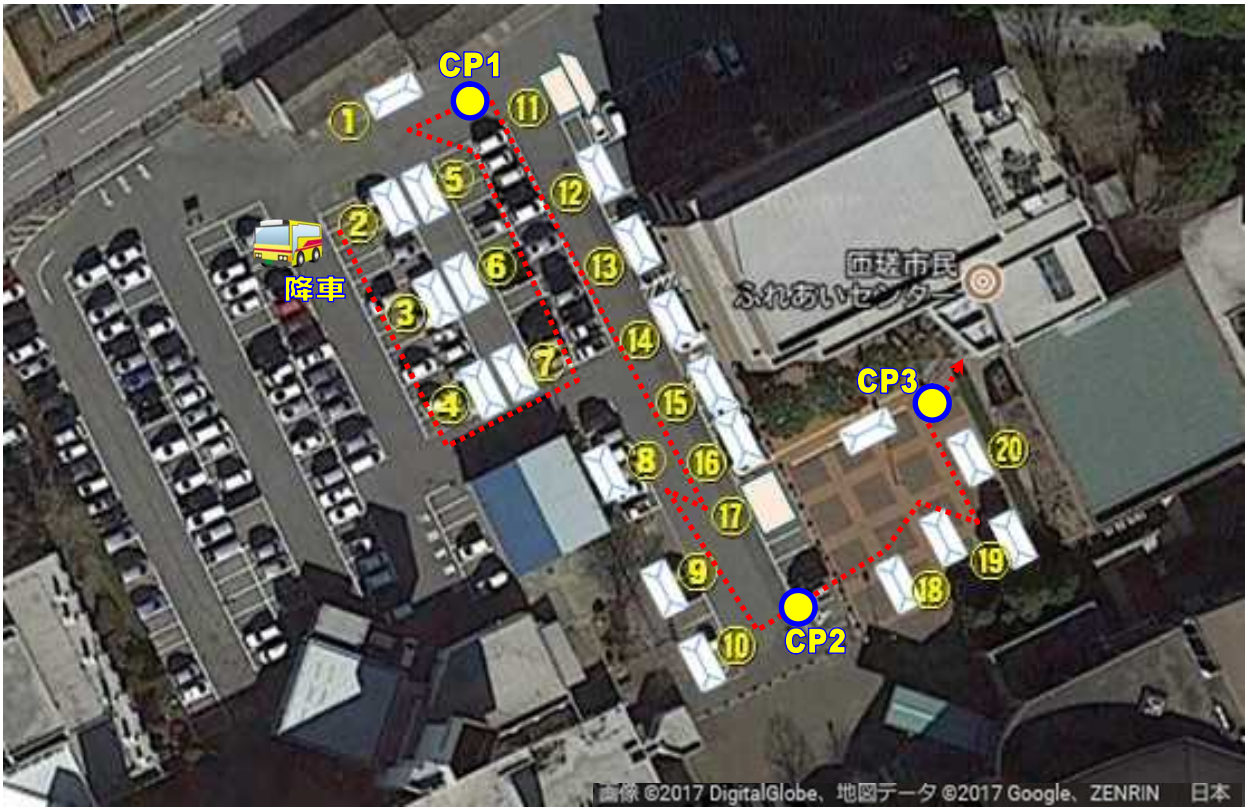
6－1　巡視経路（全体）・・・75分間（10時15分～11時30分）※移動含み



6－2　巡視経路（テント移動～バス乗車～降車）・・・15分間（10時15分～10時30分）

上図の行程①～④

６－３　巡視経路（防災フェア／センター屋外）　・・・20分間（10時30分～10時50分）



	団体名	防災啓発等の内容		団体名	防災啓発等の内容
①	千葉県警察本部	活動紹介、相談受付等	⑪	（一社）全国木造建築事業協会千葉県協会	モデルハウス展示等
②	（一社）千葉県薬剤師会、千葉県薬務課	活動紹介、車両展示等	⑫	（一社）プレハブ建築協会	モデルハウス展示等
③	（一社）千葉県歯科医師会	口腔ケア用品配付、車両展示等	⑬	千葉県解体工事業協同組合	重機の紹介、ゲームコーナー等
④	東日本電信電話㈱	災害伝言ダイヤル体験、車両展示等	⑭	（NPO）千葉レスキューサポートバイク	活動紹介、バイク展示等
⑤	ＫＤＤＩ㈱	災害伝言ダイヤル体験、車両展示等	⑮	千葉県循環型社会推進課	活動紹介、燃料電池車両展示等
⑥	ソフトバンク㈱	災害伝言ダイヤル体験、車両展示等	⑯	国立研究法人防災科学技術研究所	研究・活動紹介等
⑦	㈱ＮＴＴドコモ	災害伝言ダイヤル体験、車両展示等	⑰	千葉県防災政策課	起震車体験
⑧	（NPO）日本災害救助犬協会	活動紹介、救助犬ふれあいコーナー等	⑱	陸上自衛隊習志野学校	炊き出し訓練
⑨	（一社）千葉県ＬＰガス協議会	LP等ガス発電機、LPガス自動車展示等	⑲	日本赤十字社千葉県支部、匝瑳市赤十字奉仕団	炊き出し訓練、応急手当体験
⑩	八匝水道企業団	活動紹介、給水車展示等	⑳	陸上自衛隊千葉地方本部	活動紹介

通過時間チェック

ﾎﾟｲﾝﾄ	通過時刻	経過団体
CP1	10:37	②→③→④→⑦→⑥→⑤→①
CP2	10:47	⑪→⑫→⑬→⑭→⑮→⑯→⑰→⑧→⑨→⑩
CP3	10:50	⑱→⑲→⑳

【エリアの概要、団体別活動内容とワンポイントアピール】

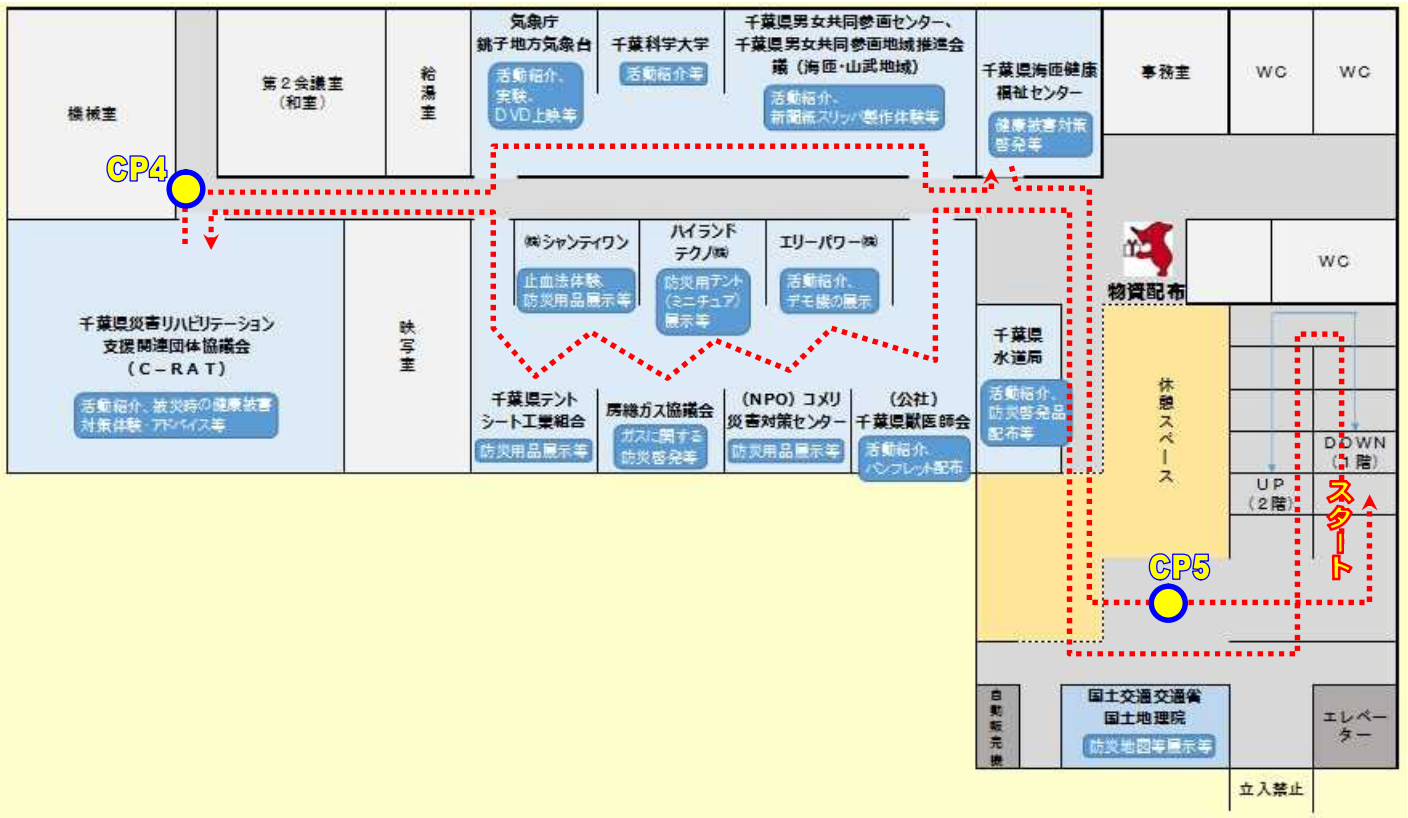
● 防災関係機関による防災啓発を来場者（特に一般見学者向け）に行い、防災意識の向上を図ります。

通過団体名	活動内容	ワンポイントアピール	備考
(一社)千葉県薬剤師会	被災地に移動して薬の調剤を行うことのできる「モバイルファーマシー」を展示します。	災害時には薬局も被災し、調剤が出来なくなる事も考えられます。	
千葉県健康福祉部薬務課	千葉県と薬事関係団体とで締結している災害時等の救護活動に関する協定を紹介します。		

(一社)千葉県歯科医師会・(一社)香取匝瑳歯科医師会	避難所でのお口の衛生環境を保つための歯科検診車両（ビーバー号）を展示します。	東日本大震災の折、ビーバー号は、岩手県に出動し、一般歯科治療・義歯作成・誤嚥性肺炎予防のための口腔ケア等に参加しました。（※千葉県での災害時でも同様に活動します。）	
東日本電信電話(株)	①災害伝言ダイヤル「１７１」の体験を行います。※今回初めてビックテレホンでの実演です。	災害時電話が繋がりにくい場合に、ご家族・知人の安否を確認する通信手段です。	
	②非常用電源車を展示します。	ＮＴＴビル停電時に電力を供給するための活動車両です。台風時期は毎年出動しています。	
	③ポータブル衛星車を展示します。	避難所等が孤立した場合に衛星を利用し通信を提供します。近年では茨城水害時に出動しています。	
(株)ＮＴＴドコモ	災害対策への取り組み紹介及び、移動基地局車の展示を行います。	災害発生時に、市区町村庁舎等の重要拠点における通信を確保するため機動性に優れた移動基地局車を使用し、携帯電話の様々なサービスを提供しています。	
ソフトバンク(株)	災害伝言板や音声お届けサービスなど、災害時のコミュニケーション手段の普及・啓発と、災害時の通信手段として衛星携帯電話の紹介をしています。	災害時には重要な通信手段となります。	
ＫＤＤＩ(株)	被災地に派遣する移動型基地局車及びドローンの展示や、ａｕスマートフォンを使った災害用伝言板等の登録体験を行います。	移動型基地局車は、被災地と同様にアンテナを立上げ展示します。	
千葉県警察本部（匝瑳警察署）	震災発災害時における避難所での相談窓口を開設します。	東日本大震災時には、移動交番を被災地に派遣し、治安維持や相談窓口の開設を行いました。今後、予想される大地震でも、被災住民や外国人観光客等の不安解消や治安維持が期待されます。	
(一社)全国木造建設事業協会千葉県協会	応急仮設住宅の展示を行っています。	災害発生時に県内木材を最優先して復旧復興と地域の活性化に向け木造仮設住宅建設を行うための体制整備を行っています。	
(一社)プレハブ建築協会	応急仮設住宅の浴室等を設置したモデルハウス展示や、建設状況等の写真展示などを行います。	これまで、東日本大震災などで73,000 戸超、熊本地震でも 3,605 戸の「応急仮設住宅」を建設しました。	
千葉県解体工事業協同組合	災害時に活躍する解体用重機などの紹介、多くの家族連れが足を運ぶような簡単なゲームコーナーを行います。	当組合は、県・県警・千葉市・消防局と災害協定を締結しており、昨年より県警警備課と災害緊急連絡網の実践的シミュレーション訓練を行っています。	
(NPO)千葉	災害現場で使用するオートバイなどの	千葉県在住のオートバイ愛好家によ	

県レスキューサポートバイク	資機材やこれまでの活動状況の展示などを行います。	る、災害救援活動支援ボランティアです。機動力を生かし、救護活動や情報収集、物資搬送などの支援を行います。	
千葉県環境生活部循環型社会推進課	燃料電池自動車「ＭＩＲＡＩ」の展示や啓発を行います。	走行時に地球温暖化の原因となる CO2 を排出しません。災害時には、水素を使って発電し電力を供給できるなど、さまざまなメリットがあります。	
防災科学技術研究所	外房沖に設置した海底地震津波観測網を活用した津波遡上の即時予測に関する研究内容の紹介を行います。	千葉県との共同研究として、災害対応に必要な津波の浸水範囲を即時に予測する技術開発を行っています。	
千葉県防災危機管理部防災政策課	起震車による地震体験を行います。	過去の大地震を体験することで、地震発生直後にとるべき行動や、家具固定など事前対策について知ってもらいたい。	
(NPO)日本救助犬協会・千葉県災害救助犬協会・(一社)ジャパンケネルクラブ	救助犬とのふれあい・ペット同行避難時に必要なハウストレーニング法の紹介・パネル展示・救助犬のデモンストレーションを行います。	地元千葉県の救助犬で、大震災時にはすぐに駆け付けます。	
(一社)千葉県 LP ガス協会及び海匝支部	災害時の備蓄用として従来と異なった FRP 容器の普及、また、地震対策及び二次災害防止のためガス放出防止型高圧ホース等の普及の啓発を行います。	LP ガスの安定供給と災害事故防止を目的に事業を行っています。	
八匝水道企業団	災害必需品の展示・配布等を行っています。また、炊き出し訓練に際し、給水車を用いた水の提供を行います。	水は災害時に不可欠です。災害必需品の配布を行いますので有事の際に役立ててください。	
陸上自衛隊需品学校	野外炊具車両を使用した炊き出し訓練を行います。	災害時、炊き出しは避難者の大きな力となります。熊本地震では、南阿蘇村で入浴支援活動も行いました。	
千葉県匝瑳市赤十字奉仕団	ハイゼックスを使用した炊き出し訓練を行います。見学者の皆さんに炊き上がったハイゼックスを配付します。	ハイゼックスとは特殊なビニール袋の中に水とお米を入れ、沸騰したお湯の中に入れておくと、ご飯が炊けるというものです。	
日本赤十字社千葉県支部	胸骨圧迫や人工呼吸、AED の取り扱いといった一次救命処置の体験・練習をしてもらいます。	「人のいのちと健康、尊厳を守る」という使命のもと、救急法等の講習会を開催し、救命知識や技術を広めています。	
防衛省自衛隊千葉地方協力本部	マスコットキャラクター「まもるくん」を出動し盛り上げています。	各都道府県下における自衛隊の総合窓口で、陸海空自衛隊の共同機関です。	

６－４　巡視経路（防災フェア／センター２階）　・・・１４分間（１０時５１分～１１時０５分）



通過時間チェック

ﾎﾟｲﾝﾄ	通過時刻	経過団体
CP4	11:01	国土地理院→～～～→Ｃ－ＲＡＴ
CP5	11:05	銚子地方気象台→～～～→県海匝健康福祉センター

【エリアの概要、団体別活動内容とワンポイントアピール】

● 防災関係機関による防災啓発を来場者（特に一般見学者向け）に行い、防災意識の向上を図ります。

通過団体名	活動内容	ワンポイントアピール	備考
国土地理院関東地方測量部	地震・津波の対策等に役立つ匝瑳市周辺の空中写真や標高地形図及び浸水範囲図（東北太平洋沖地震）などについて展示・紹介を行います。	防災の基礎となる公共測量の助言、地殻変動に関する観測及び防災・減災に役立つ地図データや測量データの整備・提供を行っています。	
千葉県水道局	ペットボトル水や非常用飲料水袋の配布を行い、災害時の備えなどを啓発します。	熊本地震では、当局の技術職員及び千葉県水道管工事協同組合からなる応援復旧隊を派遣しました。	
(公社)千葉県獣医師会	ペット同行避難時の備蓄用品などの確保、迷子防止対策などの紹介や啓発を行います。	災害発生時の動物救護体制を整え、県と連携して活動できるよう努めています。	
エリーパワー(株)	災害時、停電時にご活用頂ける可搬型リチウムイオン蓄電池システム『パワーイレ・スリー』の展示、紹介を行います。	キャスター付きで移動できる点や発電機と違い排気がでないので室内で使用できる点が好評です。	
(NPO)コメリ災害対策センター	コメリの店舗で準備できる、家庭や避難所で「あると便利な防災用品」の展示を行ないます。	災害発生時には自治体との支援協定に基づき、復旧用品や避難生活用物資の供給を行なっています。東日本大	

		震災や熊本地震、各地で起こる豪雨災害などにも対応しています。	
ハイランドテクノ(株)	(株)クラレと共同開発した防災用テント「ジオダイナ」のミニチュアサイズを使用して、実演を行います。	即時展張、即時撤収に優れたテントであり、発災時に現地本部、緊急避難場所等として力を発揮します。	
房総ガス協議会	各家庭に設置されているガスメーター(マイコンメーター)の操作説明、防災啓発を行います。	大規模地震時は、ガス事業者への電話がつながりにくくなります。簡単な操作なので、お客様に覚えて頂けると早期の使用再開につながります。	
(株)シャンティワン	命を守る防災セットの展示と体験を行います。	熊本地震に際し、熊本赤十字病院に止血バンテージを提供させていただき救命活動に貢献いたしました。	
千葉県テントシート工業組合	来場者の皆さんに防災関連のカタログを配布・防災用品を PR します。	災害時に安全安心なテントは必要です。	
千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会（Ｃ－ＲＡＴ）	エコノミークラス症候群予防対策（体操体験含む）、ムセたりするなど飲み込む力が弱い人のための食品試食、熊本地震での避難所の環境改善例などを展示します。	熊本地震では全国組織（JRAT＝ジェイラット）と連携し、千葉県から 6 施設 10 チームを現地に派遣しました。 県内発災時に備え、県健康福祉部健康づくり支援課と災害時派遣協定の締結の手続きを進めています。	
気象庁銚子地方気象台	雲を作る実験や津波のＤＶＤなどを通して、自然現象や災害防止について知識の普及を行います。	新しい防災気象情報の発表を開始しました。警戒が必要な時間帯や危険度を一目で分かるようにお知らせします。	
千葉科学大学	防災リーダーを育てる大学の活動の紹介や学生消防隊の活動内容などの紹介を行います。	学生団体は、消防団、警察等と連携し、防災・防犯活動等、社会貢献活動を行っているほか、東日本大震災などではボランティアとして参加しました。『人を助けたい』の精神で日々活動しています。	
千葉県男女共同参画地域推進員会議	男女共同参画の推進のため、特に女性の視点から災害時において配慮が必要と考えられる対応について啓発を行います。	災害時のために欠かせません。	
千葉県海匝健康福祉センター	災害時に避難所で起こりうる健康被害（食中毒、感染症、エコノミークラス症候群　等）の注意点や対策を紹介します。	災害時のために欠かせません。	

６－５　巡視経路（防災フェア／センター３階）　・・・7分間（１１時０６分～１１時１３分）

通過時間チェック

ﾎﾟｲﾝﾄ	通過時刻	経過団体
CP6	11:10	県危機管理課→～～～→県災害ボランティアセンター連絡会
CP7	11:13	『ボランティアセンター運営訓練（県災害ボランティアセンター連絡会、市社会福祉協議会、市ボランティア連絡協議会）』

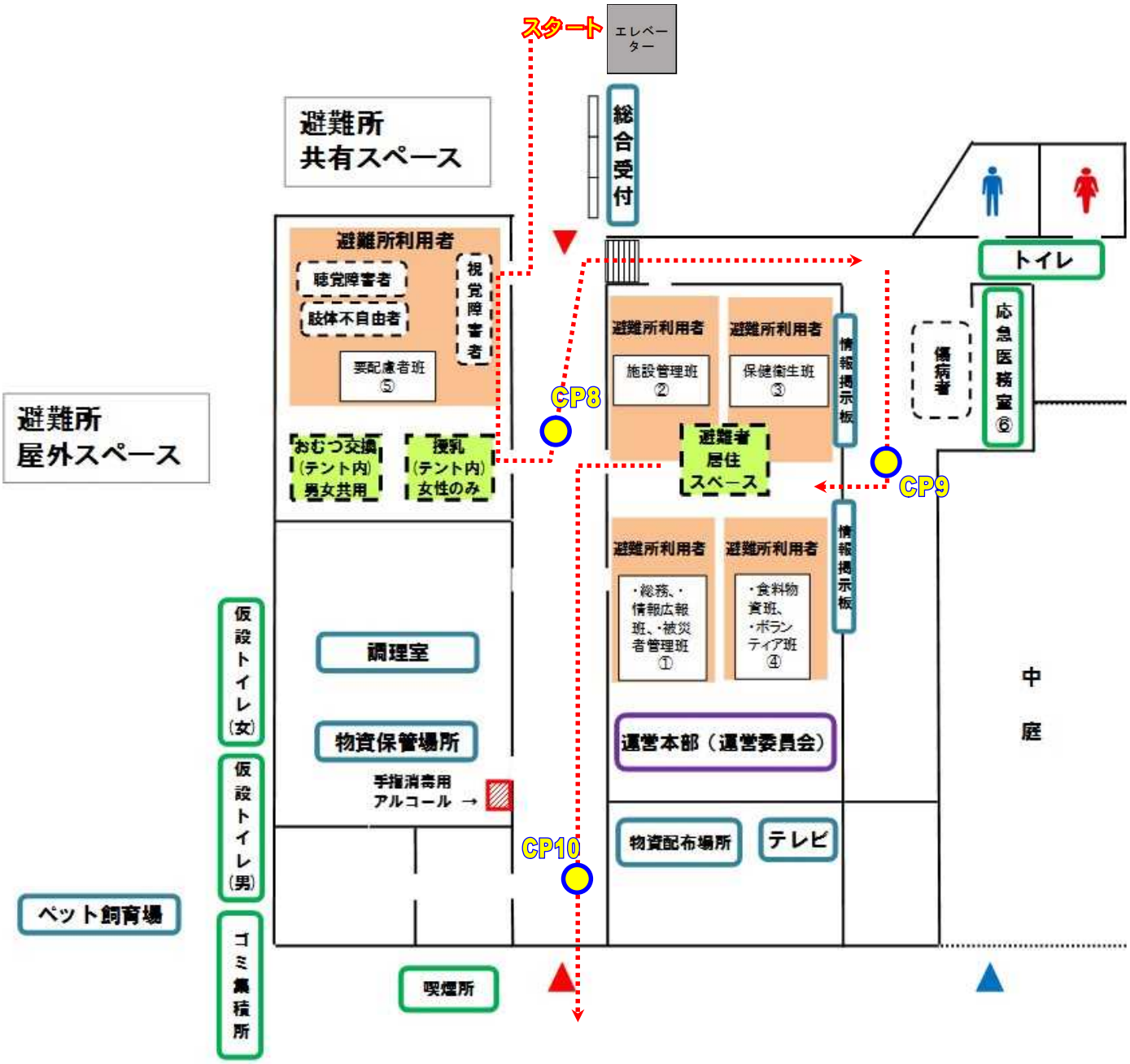
【エリアの概要、団体別活動内容とワンポイントアピール】

- 防災関係機関による防災啓発を来場者（特に一般見学者向け）に行い、防災意識の向上を図ります。
- 大ホールでは、災害時に欠かせないボランティアセンターの立ち上げ～運営までの一連の訓練を行います。

通過団体名	活動内容	ワンポイントアピール	備考
千葉県防災危機管理部危機管理課	弾道ミサイルが飛来することになった場合にどのような放送があり放送後どのように行動すればよいかを啓発します。	昨今の日本を取り巻く情勢から目を背けられない課題となっています。	
(NPO)千葉県防災士会	災害で、必要とする物が無い場合の身の回りにあるものでの対応（ゴミ袋で寒さ対策等）などを紹介します。	防災士会の活動は、被災後の復旧支援と災害を最小限とする減災・縮災に向けて、訓練などを通して県民一人一人の防災力を高めていくことにあります。	
千葉県防災危機管理部防災政策課	家具の固定や備蓄の方法、避難についての知識など、日頃からの備えについての啓発を行います。	災害はいつどこで起こるか分かりません。一人一人が日ごろから災害に備えることが大事です。	
(株)ウェザーニューズ	「ちば減災プロジェクト」の紹介、参加の方法などをお伝えします。	「ちば減災プロジェクト」は情報による自助・共助減災に繋がります。一人でも多くの県民の皆さんに見て、使って、参加して頂ければと思います。	
千葉県災害	被災地での活動などの紹介を行いま	－	

ボランティアセンター連絡会	す。		
千葉県災害ボランティアセンター連絡会・匝瑳市社会福祉協議会・匝瑳市ボランティア連絡協議会	千葉県災害ボランティアセンターより派遣する支援員と被災地（匝瑳市）災害ボランティアセンターのスタッフが連携して匝瑳市災害ＶＣの立上げ・運営を行います。	被災地・被災者支援においてボランティア活動は不可欠なものとして認知されてきており、その活動の調整を担う災害ボランティアセンターの役割は重要なものとなっています。	ボランティアセンター運営訓練

６－６　巡視経路（避難所運営訓練／センター１階）　・・・６分間（１１時１４分～１１時２０分）



通過時間チェック

ﾎﾟｲﾝﾄ	通過時刻	経過団体
CP8	11:16	要配慮者スペース（市（地区支部）、市保健師、自主防災会、県柔道整復師会、県防災士会、県男女共同参画センター※地域推進員会議（海匝・山武地域）含む）
CP9	11:17	応急医務室（市（地区支部）、自主防災会、市保健師、旭匝瑳医師会、国保匝瑳市民病院、旭匝瑳薬剤師会）
CP10	11:20	避難者居住スペース（市（地区支部）、自主防災会、県防災政策課、県男女共同参画センター※地域推進員会議（海匝・山武地域）含む、市国際交流会、県防災士会、市保健師、県柔道整復師会、市（市民部）、県災害ボランティアセンター連絡会、市ボランティア連絡協議会、市社会福祉協議会）

【エリアの概要、団体別活動内容とワンポイントアピール】

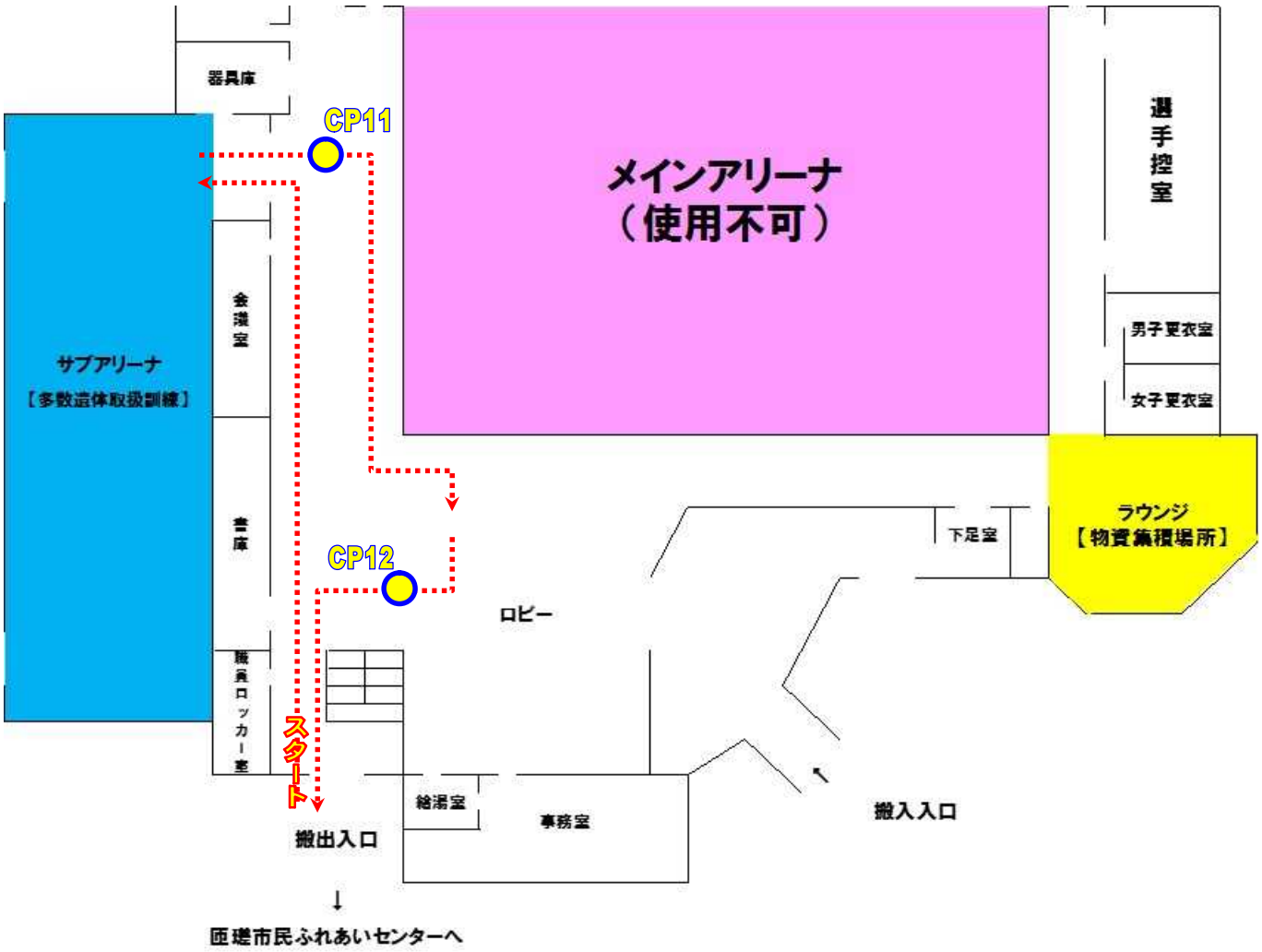
- 災害時に自主防災組織自らが避難所運営を行うことができるよう学習する訓練を行うほか見学者に向けた避難所の周知を行います。具体的には、防災関係機関から自主防災組織が行う避難所運営への助言を行うほか、見学者に向けても、「避難所とはどんなところ？必要なことは？」などの啓発を行います。

通過団体名	活動内容	ワンポイントアピール	備考
千葉県県土整備部都市整備局建築指導課	避難所の開設に先立ち、地震により建物が被災していないか、被災建築物応急危険度判定士により、応急危険度判定を行います。	被災建築物応急危険度判定士は、民間、公務員合わせて、県内で4,000 人以上の建築士等が登録されています。	避難所開設担当
千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会（C―RAT）	避難所で要配慮者が過ごすためにどのような工夫が必要か、どのように介助すべきかをリハビリテーション専門職の観点から伝えるとともに提案します。	熊本地震では全国組織（JRAT＝ジェイラット）と連携し、千葉県から 6 施設 10 チームを現地に派遣しました。 県内発災時に備え、県健康福祉部健康づくり支援課と災害時派遣協定の締結の手続きを進めています。	要配慮者班担当
(一社)千葉県助産師会	妊産褥婦、育児中の母子は、『災害弱者』であることから、発災時の啓発を行います。また、母子や女性のプライベートスペースの設営についての助言を行います。	妊娠、出産、育児支援に携わる当会は、災害時に女性とその家族の健康をサポートするため、県内市町村との災害時支援協定締結を進めています。	
(一社)旭匝瑳医師会	負傷者の方の応急処置法を指導します。	災害時に医療の力は不可欠です。	応急医務室担当
国保匝瑳市民病院	負傷者の方の応急処置法を指導します。	災害時に医療の力は不可欠です。	
(一社)旭匝瑳薬剤師会	医師会と連携し被災者の支援活動、避難所において必要な医薬品の供給・補充の訓練を行っています。	災害時に医療の力は不可欠です。	
(公社)千葉県柔道整復師会	災害で骨折等のケガをして処置を受けられないまま避難所で生活している方や、長期避難生活で腰痛等に苦しんでいる方等を想定した施術や相談を行います。	東日本大震災の折、6 名が福島県の避難所に医療救護支援に行きました。骨折、捻挫等の処置、腰や膝等の施術、痛みの相談などきりがありませんでした。	保健衛生班担当
千葉県災害ボランティアセンター連絡会・匝瑳市社会福祉協議会・匝瑳市ボランティア連絡協議会	食料物資・ボランティア班に指導や助言を行います。	被災地・被災者支援においてボランティア活動は不可欠なものとして認知されてきており、その活動の調整を担う災害ボランティアセンターの役割は重要なものとなっています。	食料物資・ボランティア班担当
(NPO)千葉県防災士会	理解されているようで理解されていない「避難所」の全体についての説明を行います。（自主運営、避難所とはどういうものか、利用の心得等を伝えます。）	避難所運営には一般の市民がリーダーとなることは難しく、自主防災組織が担当せざるを得ない → そのためには… （阪神淡路大震災などでは「組織はあれど機能せず」が大きな反省となった。）	施設管理班ほか担当

千葉県防災危機管理部防災政策課	地域の自主防災組織が中心となり、避難者の受付、避難者名簿の整理、生活のルールづくりなどを行います。	今回のように地域住民を交えた訓練を平時から実施することが、災害時の円滑な避難所運営に繋がります。	総務・情報広報・被災者管理班担当
匝瑳市国際交流協会	外国人被災者の避難を想定した訓練（多言語表示による情報発信や、災害時によく使う用語を易しい日本語に言い換えて伝えるなど）を行います。	災害時には、地域に住む外国人や観光で本市を訪れた外国人も被災者となる可能性があります。	

６－７　巡視経路（多数遺体取扱訓練・救援物資搬入仕分訓練／八日市場ドーム）

・・・9分間（11時21分～11時30分）



通過時間チェック

ﾎﾟｲﾝﾄ	通過時刻	経過団体
CP11	11:28	『多数遺体取扱訓練（県警察本部、市（福祉部）、県歯科医師会、香取匝瑳歯科医師会、千葉大学大学院医学研究院法医学教育研究センター、千葉中央葬祭業協同組合、県消防学校）』 ※説明時間の関係により早まることも可
CP12	11:30	『ボランティアセンター運営訓練（救援物資搬入仕分訓練）（市（産業部）、県災害ボランティアセンター連絡会、市ボランティア連絡協議会、市社会福祉協議会）』

【エリアの概要、団体別活動内容とワンポイントアピール】

● 大規模災害時には多数発生してしまう身元不明遺体の取扱い練度を向上する訓練を行います。片一方で災害から人命を守ることを目的とした訓練を行っていることもあり一般見学者に対しては非公開としています。

通過団体名	活動内容	ワンポイントアピール	備考
千葉県警察本部（捜査	大規模災害で多くの犠牲者が生じたことを想定し、迅速かつ的確に多数遺体	大災害時は、警察、市町村、医師等関係機関が連絡を密にして人心の安	

第　1　課ほか）	取扱を行えるよう、マネキンの他に生体を利用した実践的な訓練を行います。	定を図るとともに、搬送された遺体について死者の尊厳に十分配慮する必要がある。	
(一社)千葉県歯科医師会・(一社)香取匝瑳歯科医師会	災害によるご遺体の歯科所見からの身元確認訓練を行います。	東日本大震災の折、福島県では、歯科医師が身元不明遺体の歯科所見からの身元確認を行いました。（※千葉県での災害時でも同様に活動します。）	
千葉中央葬祭業協同組合	県警や歯科医師会などと連携した実践的な訓練を行います。	災害時のためには不可欠な内容です。	
千葉大学附属法医学教育研究センター	県警、歯科医師会などと連携して死体検案書の作成や身元確認作業を行なっています。	多数遺体の検死に対応できるよう、医師、歯科医師等の人材育成を行なっており、分析機関として化学テロなどでの原因物質のスクリーニング、特定が可能です。このような訓練に法医学教室が参加するのは全国的に珍しく、成田空港を擁する千葉県として、国際標準の災害遺体対応体制を構築し、千葉モデルとして全国に発信しています。	
千葉県災害ボランティアセンター連絡会・匝瑳市社会福祉協議会・匝瑳市ボランティア連絡協議会	県外などからの救援物資が県や市の集積所に寄せられることを想定し、救援物資搬入仕分け訓練を実施します。	集積所に次々に送られてくる物資が、適切に避難所に分配されなかったことは熊本地震でも課題のひとつに挙げられました。	

６－８　巡視経路（退場）・・・11時30分

① 車両の移動・・・巡視バスに引き続いて車両を移動してください。（※知事車両を先頭に巡視構成者全ての車両を八日市場ドーム裏口に移動してもらい、縦列駐車で待機していただきます。）

② 訓練巡視終了（１１時３０分）・・・待機してある車両に乗り退場してください。（※知事の退場に引き続き順次、退場してください。）

※巡視終了後は、来賓テントの自席には戻りませんので、随行者の方は、忘れ物の無きようご注意ください。